

JPR、キューピー、ライオンの異業種3社による共同幹線輸送を開始
～実車率 99.5%を実現し、CO₂排出量を 62%削減～

日本パレットレンタル株式会社(代表取締役社長:加納 尚美、本社:東京都千代田区、以下JPR)、キューピー株式会社(代表取締役 社長執行役員:長南 収、本社:東京都渋谷区、以下キューピー)、ライオン株式会社(代表取締役社長:濱 逸夫、本社:東京都墨田区、以下ライオン)は異業種3社で新たな連携を行い、共通のトレーラーを利用した共同幹線輸送を開始いたします。

近年の物流業界は、ドライバー不足、物流費の上昇、CO₂削減などの課題が深刻な社会問題となっています。安定的な輸送の実現には、持続可能な物流網の構築が必須です。

これまでJPR、キューピー、ライオンは、各社個別でトラック等を手配し、商品等の輸送を行っていました(JPR:九州～関西、キューピー:関東～九州、ライオン:四国～関東)。

しかし昨今の物流業界での課題を受け、共通の課題を持っていたJPR、キューピー、ライオンの3社による共同輸送について検討を始め、今年6月関東～九州間の往復(総移動距離2,811km)で共同幹線輸送^{※1}のテストを実施しました。その結果、実車率^{※2}の向上、ドライバーの労働環境改善、またCO₂排出量の削減などの効果が得られました。

この結果を受け、8月22日より3社による共同幹線輸送を本格稼働致します。積載するのは、JPRの物流機器(パレット)、キューピーの調味料、加工食品等、ライオンのハンドソープ、ボディソープ等です。

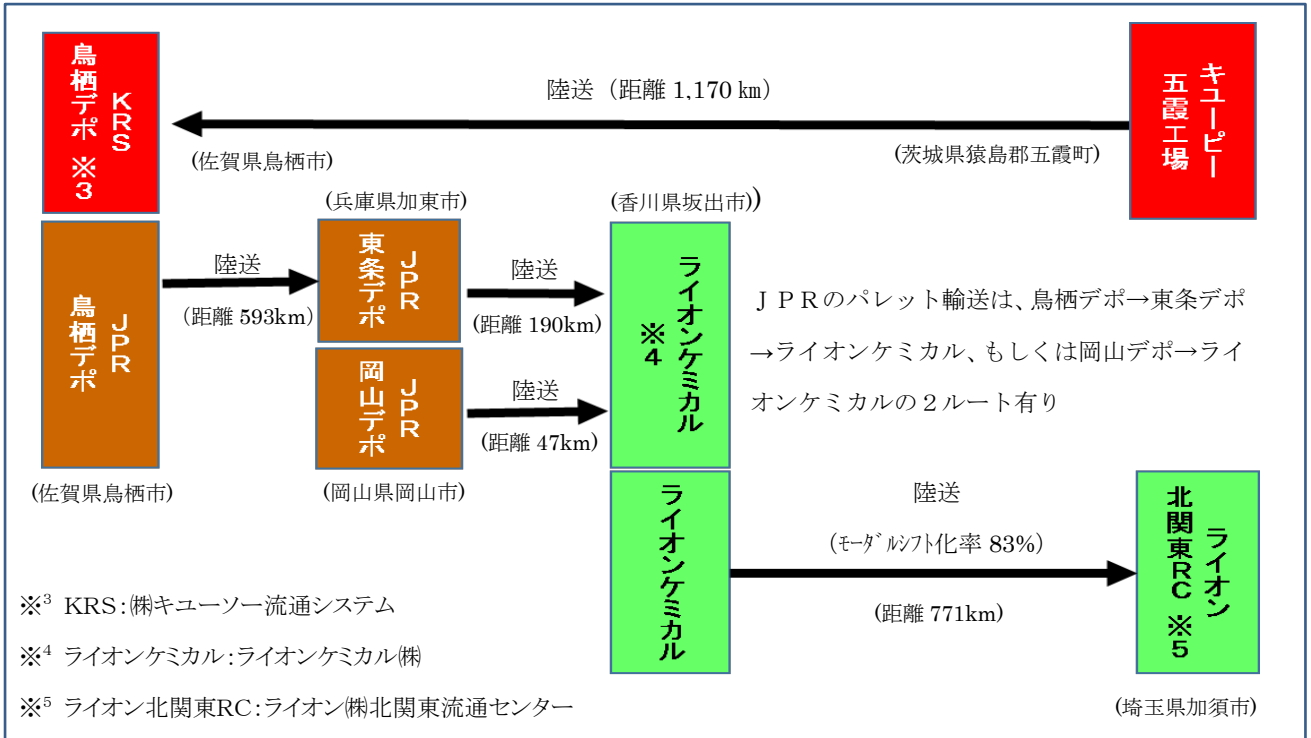
今後も、業種に関わらずパートナーとなりうる企業と積極的にこの取り組みを上げ、持続可能な物流網の構築を進めていきます。

※¹ 幹線輸送: 拠点に荷物を大量に集め、その拠点から別の拠点に輸送機関で運ぶ

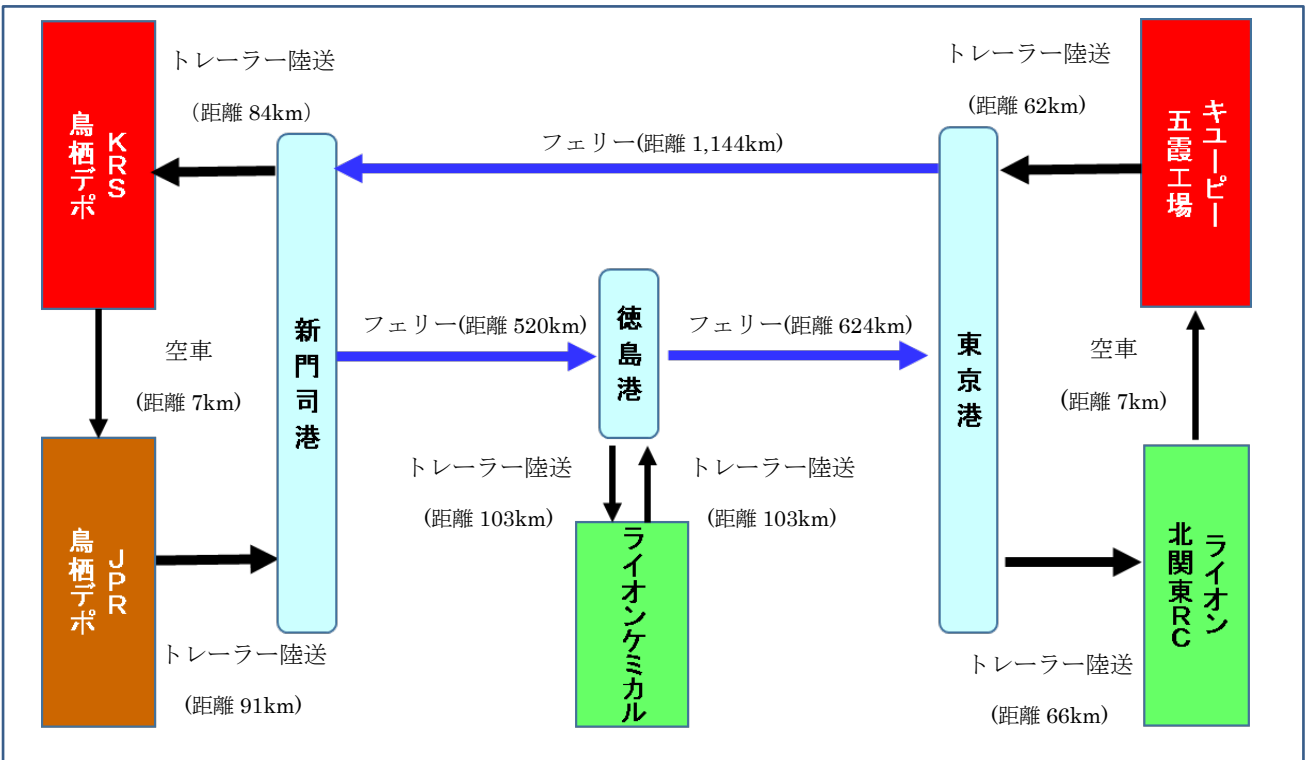
※² 実車率: 総移動距離のうち、実際に貨物を積載して移動した距離の比率

■運用フロー

✓ これまでの物流フロー（トラック陸送の場合）



✓ 今後の物流フロー（2018年8月22日以降）



※今回の共同幹線輸送は各社の輸送の内の一部です。

・物流会社について

関光汽船株式会社(代表取締役社長:入谷 一成、本社:山口県下関市)が全工程の輸送の手配をし、海運についてはオーシャントランス株式会社(代表取締役社長:高松 勝三郎、本社:東京都中央区)所有のオーシャン東九フェリーで輸送を行います。

■共同幹線輸送におけるポイント

①異業種の新たな協働

安定的な輸送の実現には、同業界以外に業界業種を超えた協力も必要になると考えられます。今回、食品業界のキューピー、トイレタリー業界のライオン、レンタルパレット業界のJPRの異業種3社で共同幹線輸送に取り組みました。

②実車率99%超を実現

総移動距離2,811km(関東～九州の往復)のうち、2,797kmで貨物を積載するため、99%を超えた高い実車率が得られます。さらには車両の有効活用、ドライバーの労働環境改善(運行スケジュールの明確化)、フェリーの定期便の利用により配車工数の削減も可能です。

③CO₂排出量の削減

船舶へのモダシフト、実車率の向上、ムダのない運行、車両の有効活用により、個社単位での輸送時よりCO₂排出量を62%以上低減します。

■積載対象商品

- ・JPR:物流機器(パレット)
- ・キューピー:調味料、加工食品等
- ・ライオン:ハンドソープ、ボディソープ等

■今後の展開

業界業種に関わらずパートナーとなりうる企業と積極的に取り組みを拡げ、持続可能な物流網の構築を進めてまいります。一緒に取り組みたいという荷主企業が、今回の発表を受けて増えることを期待します。

■このニュースに関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 営業企画部 営業企画グループ

Tel: 03-6895-5215 / Fax: 03-6895-5249 / Mail: pr@jpr.co.jp / URL: <https://www.jpr.co.jp>